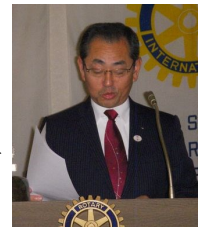


## <卓話：地区米山委員：織田信幸様>

松戸北ロータリークラブの皆様こんにちは  
地区米山記念奨学副委員長を拝命しております、松戸クラブの織田です。  
本日は東京大学修士課程2年のリュウヤウキオンさんをお連れし訪問させていただきました。  
出身はマレーシアです。  
昨年に続き卓話の時間を設けていただきましてありがとうございます。



昨年は麗澤大学の呉鋒花さんを連れて訪問しましたが、児山パスト会長には大変流暢な中国語で彼女に対し暖かい言葉で激励して頂きまして本人が感動していたことを思い出しました。

彼女は今年の3月に奨学期間を終了し一度は上の博士コースを目指しておりましたが最終的には四国にある明德義塾高校の講師として就職なさいました。  
先日も連絡があり松戸北クラブさんへの卓話訪問の話をしたところ北クラブの皆さんにくれぐれもよろしく伝えて下さいと申しておりました。

本日はほんの少々のお時間を頂戴しわたくしども地区米山委員会の活動についてお話ししたいと思います。

地区米山委員会の役目は大きく分けると三つの役割がございます。  
一つは地区内ロータリアンの皆様に「米山奨学事業への理解促進と奨学事業への協力依頼をする事」二つ目は「奨学生の選考と世話クラブ選定」そして三つ目は「奨学生・学友会への指導やサポート」です。この三つが有機的に絡み合いながら一年を通じ活動しております。

本日このように卓話訪問にお邪魔している事も一番目の理解促進と協力をお願いすることがメインであります但同时に奨学生の研修の場でもある訳です。また、奨学生を採用するにあたりこの卓話訪問は必須義務となっており、奨学期間に自クラブは勿論の事最低1回以上他のクラブに卓話訪問することを奨学生に課しております。

これはとりもなおさず奨学生がロータリー事業やロータリアンとの関わりを持つことで成長し、その成長の姿を見ていただく事で皆様に米山奨学事業の意義を感じ取ってもらい、そして奨学生が直接、感謝を申し上げる事でなお一層の協力をお願いすることに繋がります。

そして、地区委員会は慎重かつ責任を持った奨学生の選考と採用された奨学生と世話クラブ、カウンセラーとの良好な関係を構築できるようお手伝いをさせていただいております。

過去に奨学期間を終えると世話クラブとの交流が途絶えてしまう学友も少なくなく折角、お世話を頂いたのに失望させてしまうケースも多々ありました。

そこで「奨学生・学友会への指導やサポートが」が重要なパートとなり効果を表します。  
まだまだお話したい事はたくさんありますが時間の関係でこれまでとします。  
また、このような機会を頂けるなら喜んで訪問させていただきます。

最後に松戸北クラブの皆様の米山記念奨学事業への日頃のご支援とご協力に対し深く感謝申し上げます。  
ご静聴ありがとうございました。

